

**8/2(水)に講演会「8・6水害から30年、改めて備えについて考える」を開催**  
**～発生から30年経過した8・6水害を振り返り、いのちと財産を守ることを考える～**

一般社団法人日本損害保険協会九州支部鹿児島損保会（会長：大熊 健志 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 鹿児島支店長）では、平成5年8月に発生した「8・6水害（鹿児島豪雨）」から30年の節目の年となることから、改めて8・6水害を振り返り、その教訓を生かし、自然災害から、自らのいのちと財産を守るにはどうしたらよいか、考える機会としていただくために、講演会「8・6水害から30年、改めて備えについて考える」を8月2日13時30分から開催（参加費無料）します。

当日は、南日本新聞および鹿児島大学から講師をお招きし、8・6水害の振り返りや、今後の災害に対する備えについて、お話しいただく予定です。

ご興味がある方は7月24日（月）までに下記 URL の参加申込書に必要事項を記載し、お申込みください。

参加申込書：<https://www.sonpo.or.jp/news/branch/kyushu/files/chirashi.docx>

<式次第>

- 開会 司会進行 フリーアナウンサー 山野 真理
- 開会挨拶 新納 啓介 日本損害保険協会 会長  
(あいおいニッセイ同和損保社 代表取締役社長)
- 来賓挨拶 塩田 康一 氏 (鹿児島県知事)
  
- 講演①「新聞で振り返る8・6水害」  
平川 順一郎 (南日本新聞社編集局長)
- 講演②「8・6水害から30年～土砂災害に備えよう」  
地頭菌 隆 氏 (鹿児島大学教授)
- 閉会挨拶 木脇 良和 南日本新聞社専務取締役

<お申込>

- 申込締め切り／7月24日(月)必着 ※定員となり次第締め切らせていただきます。
  - 申込方法／メールまたはFAXにて、次の事項を記入の上お申込ください。  
郵便番号・ご住所／お名前／ご年齢／ご職業（会社名等）／電話番号 など
- ※応募者の個人情報（南日本新聞社、日本損害保険協会および鹿児島損保会の構成会社が共同）で取得し、「招待券」の発送など当事業の運営目的にのみ使用します。
- 申込先／南日本新聞社「8・6水害講演会受付窓口」
- メールアドレス：86suigai@373news.com FAX：099-813-5087(24時間受付)